

I

(1) 1 回の試行で得る得点と確率は次の通り.

$$2 \text{ 点} : \frac{2}{6} = \frac{1}{3}, \quad 1 \text{ 点} : \frac{4}{6} = \frac{2}{3}.$$

p_1 は 1 回目の試行で 1 点を得る確率であるから,

$$p_1 = \frac{2}{3}.$$

p_2 は「1 回目と 2 回目の試行で 1 点ずつ得るか、1 回目の試行で 2 点を得る」確率であるから,

$$p_2 = \left(\frac{2}{3}\right)^2 + \frac{1}{3} = \frac{7}{9}, \quad p_2 - p_1 = \boxed{\frac{1}{9}}.$$

一般に自然数 n に対して、得点の合計が途中でちょうど $n+2$ 点となるのは,

(ア) 1 回目に 1 点を得て、その後合計 $n+1$ 点を得る

(イ) 1 回目に 2 点を得て、その後合計 n 点を得るのいずれかの場合であり、これらは排反である.

したがって,

$$p_{n+2} = \frac{2}{3}p_{n+1} + \frac{1}{3}p_n. \quad \dots \textcircled{1}$$

よって,

$$p_3 = \frac{2}{3}p_2 + \frac{1}{3}p_1 = \frac{20}{27}, \quad p_4 = \frac{2}{3}p_3 + \frac{1}{3}p_2 = \boxed{\frac{61}{81}}.$$

また, ① より

$$\begin{cases} p_{n+2} + \frac{1}{3}p_{n+1} = p_{n+1} + \frac{1}{3}p_n, \\ p_{n+2} - p_{n+1} = -\frac{1}{3}(p_{n+1} - p_n) \end{cases}$$

を得るから, $a = \boxed{-\frac{1}{3}}$ であり, これらの式から

$$\begin{cases} p_{n+1} + \frac{1}{3}p_n = p_2 + \frac{1}{3}p_1 = 1, \\ p_{n+1} - p_n = (p_2 - p_1)\left(-\frac{1}{3}\right)^{n-1} = \left(-\frac{1}{3}\right)^{n+1}. \end{cases}$$

辺々引いて $\frac{3}{4}$ 倍すると,

$$p_n = \frac{3}{4} \left\{ 1 - \left(-\frac{1}{3}\right)^{n+1} \right\}.$$

また, ちょうど n 点 ($n \geq 2$) となることなくちょうど $(n+5)$ 点となるのは, 途中で合計点が $n-1$ 点となり, その直後の試行で 2 点を得て, その後合計 4 点を得る場合であるから, その確率は

$$p_{n-1} \cdot \frac{1}{3} \cdot p_4 = \frac{61}{324} \left\{ 1 - \left(-\frac{1}{3}\right)^n \right\}.$$

(2) -8 の 3 乗根は $x^3 = -8$ の解である.

$$x^3 = -8 \quad \text{より} \quad (x+2)(x^2 - 2x + 4) = 0.$$

$$x = -2, 1 \pm \sqrt{3}i \quad \text{より} \quad \alpha = 1 + \sqrt{3}i.$$

よって, α の虚部は $\boxed{\sqrt{3}}$ である.

次に,

$$4\alpha + (\sqrt{3} - 2 + i)\beta = (\sqrt{3} + 2 + i)\gamma$$

のとき, $z = \beta - \alpha, w = \gamma - \alpha$ とおくと,

$$4\alpha + (\sqrt{3} - 2 + i)(z + \alpha) = (\sqrt{3} + 2 + i)(w + \alpha).$$

$$(\sqrt{3} - 2 + i)z = (\sqrt{3} + 2 + i)w.$$

$$\begin{aligned} \frac{w}{z} &= \frac{\sqrt{3} - 2 + i}{\sqrt{3} + 2 + i} \\ &= \frac{(\sqrt{3} - 2 + i)(\sqrt{3} + 2 - i)}{(\sqrt{3} + 2)^2 + 1^2} \\ &= \frac{4i}{8 + 4\sqrt{3}} \\ &= (2 - \sqrt{3})i, \end{aligned}$$

すなわち,

$$\frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} = (2 - \sqrt{3}) \left(\cos \frac{\pi}{2} + i \sin \frac{\pi}{2} \right).$$

よって, \vec{AC} は \vec{AB} を $\frac{\pi}{2}$ 回転して

$2 - \sqrt{3}$ 倍したベクトルであるから,

$$\angle A = \boxed{\frac{1}{2}} \pi \quad \frac{AC}{AB} = 2 - \sqrt{3}.$$

ここで, 半角の公式より

$$\tan^2 \frac{\pi}{12} = \frac{1 - \cos \frac{\pi}{6}}{1 + \cos \frac{\pi}{6}} = \frac{2 - \sqrt{3}}{2 + \sqrt{3}} = (2 - \sqrt{3})^2$$

であるから, $\tan \frac{\pi}{12} = 2 - \sqrt{3}$.

このことも考慮すると, $\angle B = \boxed{\frac{1}{12}} \pi$ である.

また,

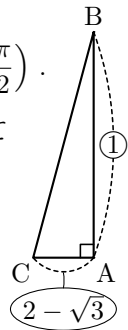
$$\frac{AC}{BC} = \frac{AC}{\sqrt{AB^2 + AC^2}} = \frac{2 - \sqrt{3}}{\sqrt{4(2 - \sqrt{3})}} = \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}$$

であるから,

$$|\alpha - \gamma| = \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} |\beta - \gamma| = \boxed{3\sqrt{2}} - \sqrt{6}.$$

さらに, 直角三角形 ABC の斜辺 BC は外接円の直径であるから,

$$(\text{外接円の半径}) = \frac{1}{2}BC = \frac{1}{2}|\beta - \gamma| = \boxed{2\sqrt{3}}.$$



II

(1) 直線 l の傾きは

$$\frac{\beta^2 - \alpha^2}{\beta - \alpha} = \frac{(\beta - \alpha)(\beta + \alpha)}{\beta - \alpha} = \alpha + \beta$$

であるから、 l の方程式は

$$y - \alpha^2 = (\alpha + \beta)(x - \alpha).$$

$$y = (\alpha + \beta)x - \alpha\beta.$$

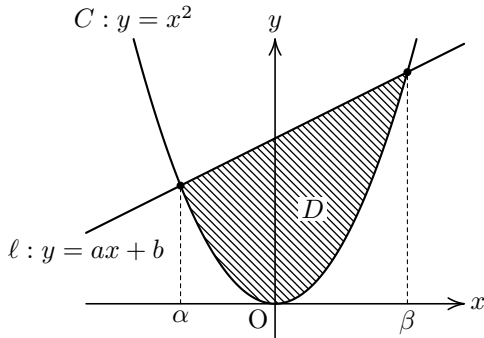
よって、

$$a = \alpha + \beta, \quad b = -\alpha\beta. \quad \dots(\text{答})$$

(2) $\alpha < x < \beta$ において

$$x^2 - (ax + b) = (x - \alpha)(x - \beta) < 0$$

であるから、この区間において曲線 C は直線 l の下側にある。



よって、 C と l で囲まれた図形 D の面積は、

$$\int_{\alpha}^{\beta} \{(ax + b) - x^2\} dx = - \int_{\alpha}^{\beta} (x - \alpha)(x - \beta) dx = \frac{1}{6}(\beta - \alpha)^3.$$

これが 36 に等しいとき、

$$(\beta - \alpha)^3 = 6^3.$$

$\beta - \alpha$ は実数であるから、

$$\beta - \alpha = 6. \quad \dots(\text{答})$$

$$\begin{aligned} (3) \quad V &= \int_{\alpha}^{\beta} \pi(ax + b)^2 dx - \int_{\alpha}^{\beta} \pi(x^2)^2 dx \\ &= \pi \int_{\alpha}^{\beta} (a^2x^2 + 2abx + b^2 - x^4) dx \\ &= \pi \left[\frac{a^2}{3}x^3 + abx^2 + b^2x - \frac{1}{5}x^5 \right]_{\alpha}^{\beta} \\ &= \pi \left\{ \frac{a^2}{3}(\beta^3 - \alpha^3) + ab(\beta^2 - \alpha^2) \right. \\ &\quad \left. + b^2(\beta - \alpha) - \frac{1}{5}(\beta^5 - \alpha^5) \right\}. \end{aligned}$$

ここで、 $c = \frac{\alpha + \beta}{2}$ より $\alpha + \beta = 2c$.

これと (2) の結果より、

$$\alpha = c - 3, \quad \beta = c + 3$$

であるから、

$$\beta^5 - \alpha^5 = 2(5c^4 \cdot 3 + 10c^2 \cdot 3^3 + 3^5)$$

$$= 6(5c^4 + 90c^2 + 81),$$

$$\beta^3 - \alpha^3 = 2(3c^2 \cdot 3 + 3^3) = 18(c^2 + 3),$$

$$\beta^2 - \alpha^2 = 2 \cdot 6c = 12c.$$

また、(1) の結果より

$$a = 2c, \quad b = -(c - 3)(c + 3) = 9 - c^2.$$

よって、

$$\begin{aligned} V &= \pi \left\{ \frac{(2c)^2}{3} \cdot 18(c^2 + 3) + 2c(9 - c^2) \cdot 12c \right. \\ &\quad \left. + (9 - c^2)^2 \cdot 6 - \frac{1}{5} \cdot 6(5c^4 + 90c^2 + 81) \right\} \\ &= \pi \left(72c^2 + \frac{1944}{5} \right). \quad \dots(\text{答}) \end{aligned}$$

したがって、 $c = 0$ のとき V は最小値

$$\frac{1944}{5}\pi \quad \dots(\text{答})$$

をとる。また、このとき

$$\alpha = -3, \quad \beta = 3. \quad \dots(\text{答})$$

III

(1) $\vec{AM} = t\vec{AP}$ より,
 $\vec{OM} = \vec{OA} + t\vec{AP}$
 $= (-1, 0, 2) + t(u+1, v, -2)$
 $= (-1 + (u+1)t, vt, 2-2t) \dots$ (答)

この M が S 上にある条件は,

$$\{-1 + (u+1)t\}^2 + (vt)^2 + (2-2t)^2 = 1 \dots \textcircled{1}$$

$$\{(u+1)^2 + v^2 + 4\}t^2 - 2(u+5)t + 4 = 0 \dots \textcircled{1}'$$

直線 AP が S に接する条件は $\textcircled{1}'$ を満たす実数 t が 1 つだけであること, すなわち, t の 2 次方程式 $\textcircled{1}'$ の判別式が 0 となることである.

$\textcircled{1}'$ の判別式を D とすると,

$$\frac{D}{4} = (u+5)^2 - \{(u+1)^2 + v^2 + 4\} \cdot 4$$

$$= -(3u^2 + 4v^2 - 2u - 5)$$

であるから, 点 P の軌跡 H の方程式は,

$$3u^2 + 4v^2 - 2u - 5 = 0 \dots$$
 (答)

(2) B(-1, 0, -2) のとき, Q(u, v, 0) とおくと BQ 上の点は

$$(-1 + (u+1)t, vt, -2 + 2t)$$

とおけて, これが S 上にある条件は $\textcircled{1}$ に一致する.

したがって, 以下 (1) と同じ計算をたどり, 点 Q の軌跡が H に一致することがわかる.

よって, 条件を満たす B (の 1 つ) は

$$(-1, 0, -2) \dots$$
 (答)

(3) H の方程式は

$$3\left(u - \frac{1}{3}\right)^2 + 4v^2 = \frac{16}{3},$$

すなわち,

$$(3u-1)^2 + 12v^2 = 16 \dots \textcircled{2}$$

と変形できる.

$$16 - 12v^2 = (3u-1)^2 \geq 0 \quad \text{より} \quad v^2 \leq \frac{4}{3}$$

であるから, v のとり得る整数値は 0, ± 1 のみである.

v = 0 のとき, $\textcircled{2}$ より $3u-1 = \pm 4$ であり, このうち u も整数となるものは

$$(u, v) = (-1, 0).$$

v = ± 1 のとき, $\textcircled{2}$ より $3u-1 = \pm 2$ であり, このうち u も整数となるものは

$$(u, v) = (1, 1), (1, -1).$$

よって, H 上の格子点は

$$(-1, 0, 0), (1, 1, 0), (1, -1, 0).$$

…(答)

(4) 格子点 C, D, E を以下のようにとる.

$$C(-1, 0, -2), D(1, 1, 0), E(1, -1, 0).$$

以下, 四面体 ACDE の辺について調べる.

辺 AB は

$$\text{線分 } x = -1 \text{ かつ } y = 0 \text{ かつ } -2 \leq z \leq 2$$

と表せるから, S に接する長さ 4 の線分である.

辺 DE は

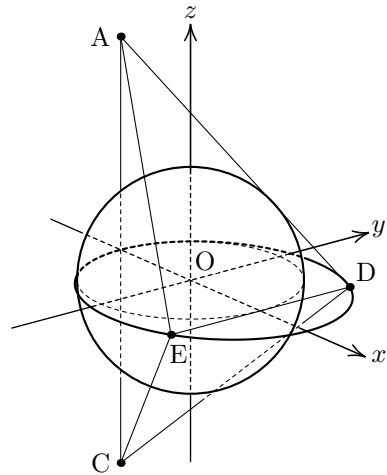
$$\text{線分 } x = 1 \text{ かつ } z = 0 \text{ かつ } -1 \leq y \leq 1$$

と表せるから, S に接する長さ 2 の線分である.

C は (2) で発見した点であり, D, E は H 上の点であるから, 辺 AD, AE, CD, CE は S に接する. また, 対称性からこれら 4 辺の長さは等しく,

$$AD = \sqrt{(1+1)^2 + (1-0)^2 + (0-2)^2} = 3$$

である.



よって, 条件 (i), (ii), (iii) を満たす点 C, D, E の組 (の 1 つ) は

$$(-1, 0, -2), (1, 1, 0), (1, -1, 0).$$

…(答)

(注) u = 1, v = 1 のとき, $\textcircled{1}'$ は

$$9t^2 - 12t + 4 = 0 \quad \text{すなわち} \quad (3t-2)^2 = 0$$

となるから, $t = \frac{2}{3}$ を重解にもつ.

したがって, 辺 AD と S の接点は $\vec{AM} = \frac{2}{3}\vec{AD}$ を満たす点 M, すなわち, AD を 2:1 に内分する点である. (注終り)

IV

(1) $g(t) = (1 - 2t^2) \sin t - t \cos t$ より,
 $g'(t) = \{(-4t) \sin t + (1 - 2t^2) \cos t\}$
 $- \{1 \cos t + t(-\sin t)\}$
 $= -3t \sin t - 2t^2 \cos t. \quad \dots(\text{答})$

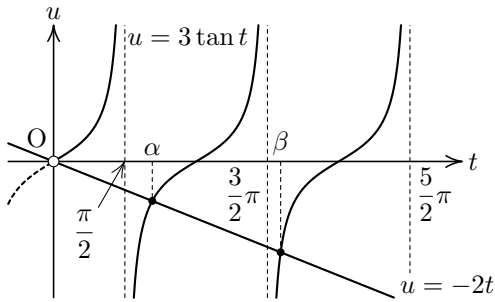
(2) $t = \frac{\pi}{2}, \frac{3}{2}\pi$ のとき $g'(t) \neq 0$ であるから, 以下
 $0 < t < \frac{5}{2}\pi, \quad t \neq \frac{\pi}{2}, \frac{3}{2}\pi \quad \dots \textcircled{1}$

のときを考える. このとき, (1) より
 $g'(t) = -t \cos t (3 \tan t + 2t).$

① の範囲において $t \cos t \neq 0$ であるから, 方程式 $g'(t) = 0$ の実数解は

$$3 \tan t = -2t$$

の実数解であり, これは $u = 3 \tan t, u = -2t$ のグラフの共有点の t 座標である.



よって, $0 < t < \frac{5}{2}\pi$ における方程式 $g'(t) = 0$ の実数解の個数は **2** 個 である. $\dots(\text{答})$

(3) (2) の考察より, $0 < t < \frac{5}{2}\pi$ における方程式 $g'(t) = 0$ の解は 2 個あり, それらを小さい方から α, β とすると, $0 < t < \frac{5}{2}\pi$ における $g(t)$ の増減は次のようになる.

t	(0)	...	α	...	β	...	$(\frac{5}{2}\pi)$
$g'(t)$		-	0	+	0	-	
$g(t)$	(0)	↘		↗		↘	

方程式 $g(t) = 0$ の実数解は, $u = g(t)$ のグラフと t 軸の共有点の t 座標であるから,

$$g(\pi) = \pi > 0, \quad g(2\pi) = -2\pi < 0$$

も考慮すると, $0 < t < \frac{5}{2}\pi$ における方程式 $g(t) = 0$ の実数解の個数は **2** 個 である. $\dots(\text{答})$

(4) $a = \frac{\pi}{(2n+1)^2}$ とおくと $f_n(x) = \frac{1}{x} \sin(ax^2)$ であるから,

$$\frac{d}{dx} f_n(x) = -\frac{1}{x^2} \sin(ax^2) + \frac{1}{x} \cos(ax^2) \cdot 2ax$$

$$= -\frac{1}{x^2} \sin(ax^2) + 2a \cos(ax^2),$$

$$\frac{d^2}{dx^2} f_n(x) = \frac{2}{x^3} \sin(ax^2) + \left(-\frac{1}{x^2}\right) \cos(ax^2) \cdot 2ax$$

$$- 2a \sin(ax^2) \cdot 2ax$$

$$= \frac{2 - 4a^2 x^4}{x^3} \sin(ax^2) - \frac{2a}{x} \cos(ax^2).$$

よって, $t = ax^2$ とおくと,

$$x^3 \frac{d^2}{dx^2} f_n(x) = 2(1 - 2t^2) \sin t - 2t \cos t$$

$$= 2g(t). \quad \dots(\text{答})$$

(5) $\frac{d^2}{dx^2} f_n(x)$ が符号変化する x が, $0 < x < 5$ の範囲にちょうど 1 つ存在すればよい.

$$t = ax^2 = \frac{\pi}{(2n+1)^2} x^2 \text{ とおくと, (4) より}$$

$$\frac{d^2}{dx^2} f_n(x) = \frac{2}{x^3} g(t)$$

であるから, $\frac{d^2}{dx^2} f_n(x)$ が符号変化する条件は $g(t)$ が符号変化することである. また, x が $0 < x < 5$ の範囲を単調に増加するとき, t は

$$0 < t < \frac{25}{(2n+1)^2} \pi \quad \dots \textcircled{2}$$

の範囲を単調に増加する.

したがって, $t > 0$ で $g(t)$ が符号変化する t の値を小さい順に t_1, t_2, t_3, \dots とするとき, ② の範囲に t_1 が含まれ, t_2 が含まれなければよい.

(3) の考察および

$$g\left(\frac{3}{4}\pi\right) = \frac{1}{8\sqrt{2}}(8 - 9\pi^2 + 6\pi) < 0$$

より, $\frac{3}{4}\pi < t_1 < \pi < t_2 < 2\pi$ であることがわかる.

$$n = 1 \text{ のとき, } \frac{25}{(2n+1)^2} = \frac{25}{9} > 2 \text{ となり, } \textcircled{2}$$

の範囲に t_2 まで含まれてしまうから不適.

$n = 2$ のとき ② は $0 < t < \pi$ となり, 条件を満たす.

$$n \geq 3 \text{ のとき } \frac{25}{(2n+1)^2} \leq \frac{25}{49} < \frac{3}{4} \text{ となり, } \textcircled{2}$$

の範囲に t_1 が含まれないから不適.

以上より, 求める n の値は **2** である. $\dots(\text{答})$